

「ごみの減量」へ

トライ チャレンジ

今年は「ごみ減量20%大作戦」から5年目。みなさまの「ごみ減量」へのご理解とご協力のおかげで、目標を大きく上回る成果があがっています。

【ごみ減量20%大作戦】

⇒平成19年度から実施。前年対比（68.8%）

⇒指定袋制度を導入し、容器包装プラの分別など収集制度の変更。

平成19年度には、ごみ減量31.2%を実現しました。

平成20年度・平成21年度の燃えるごみ量はわずかではありますが、増加の傾向を示しました。

制度改正4年目となる昨年度は、微増から一転、減少傾向（前年度比98%）を示した結果となりました。

「ごみ減量運動」は継続が大事です。毎日の生活のなかで「ごみ減量運動」をしっかり習慣づけることが大切です。

事業系ごみ等の搬入量は減少傾向へ

みどり園への持ち込みごみについても透明袋の使用を義務付けました。（平成20年度10月より）その成果もあって、事業系ごみ等の搬入量も減少傾向にあります。

分別はごみ減量の源

毎年実施している「ごみステーションパトロール」やその他ごみ学習会等でも、ご説明しましたように、分別の質がよくなると、リサイクルも進みやすくなり、ごみ減量の大きな『あと押し』となります。今後ともごみの分別をよろしくお願いします。

